

4 章付録_全国がん登録への届出 インポートエラー一覧

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
形式エラー			
	ウイルスに感染しています。		ウイルス感染していないことを確認し、再度アップロードしてください。 ※検疫エラーとなったファイルは、自動的に削除されます。
	アップロード者の所属医療機関名称と、アップロードされたファイル内の医療機関名称は同じである必要があります。		アップロード者の所属医療機関名称と、アップロードされた電子届出票ファイル内の医療機関名称に相違があります。所属医療機関名称と同一の電子届出票ファイルをダウンロードし、再度アップロードをしてください。
	届出票が確定されていません。電子届出票の確定ボタンを押して保存してください。		電子届出票ファイルを開き、申出書の確定操作（右下の確定ボタンをクリック）してください。確定操作を完了した電子届出票ファイルを再度アップロードしてください。
	CSV ファイルが添付されていません。CSV ファイルを添付し、再度アップロードしてください。		アップロード頂いた電子届出票ファイルの申出書の届出種別に「CSV ファイル添付」はチェックされていますが、添付がありません。CSV ファイルを添付した電子届出票ファイルを再度アップロードしてください。
	ファイル先頭行から●行目にダブルクォーテーションで括られていないデータがありました。データは数字・空白含めてすべてダブルクォーテーション（"）で括ってください。		CSV ファイルでのデータ提出時には、各項目の値（値空白を含むすべて）をダブルクォーテーションで括る必要があります。例）"診療録番号","カナ氏名","氏名", ". . .","死亡日","備考" "131301000100","ツキジテスト","築地ですと", ". . .","" ,"転院" 該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。 【注意事項】CSV ファイルを Excel で編集して保存しますと、ダブルクォーテーションが消えたり重複して付与されたりし、アップロード時にエラーとなります。 CSV ファイルの修正が必要な場合、メモ帳等のエディタを使用してください。
	●ファイル先頭行から●行目の列数が●列でした。提出項目はカンマ（,）区切りで 29 列にしてください。		CSV ファイルのデータは、各項目をカンマ（,）で区切り、1 行の項目数が 29 個である必要があります。項目区切りがカンマ区切りかどうか、文字型項目の中に余分なカンマ（,）が含まれていないか確認してください。 該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
	●列目のヘッダが不正です。●●または▲▲という文字が含まれている必要があります。		CSV1 行目（ヘッダ）の項目には所定の文字列を含む必要があります。 該当箇所のヘッダを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
	ファイル先頭行から●行目の●列目のデータが不正です。「〇〇〇」		該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。 ※「〇〇〇」に具体的なエラー内容が表示されます。 例) 数字型で入力してください。 数字型項目に数字以外の文字列が含まれています。数字のみとしてください。 例) ●文字以内で入力してください。 文字数制限が定められた項目に超過した文字列が入力されています。文字数の確認と修正をしてください。
	ファイル先頭行から●行目●列目の値が空白です。必須項目のため正しく入力してください。		必須項目には、値が設定される必要があります。該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。
	「ファイル先頭行から●行目●列目が存在しない日付です。正しい日付を入力してください。」 「ファイル先頭行から●行目●列目は日付形式(YYYYMMDD)で入力してください。」		該当箇所のデータを修正し、電子届出票ファイルに添付して再度アップロードしてください。 ※「〇〇〇」に具体的なエラー内容が表示されます。 例) 数字型で入力してください。 数字型項目に数字以外の文字列が含まれています。数字のみとしてください。 例) ●文字以内で入力してください。 文字数制限が定められた項目に超過した文字列が入力されています。文字数の確認と修正をしてください。
項目間チェック			
OL_E3002	氏の部分が全角ハイフン「-」以外(全角マイナス「ー」、全角ダッシュ「—」、長音「ー」)になっています。	漢字氏	全角マイナス「ー」、全角ダッシュ「—」、長音「ー」いずれか1文字が入力されています。氏が不明の場合、全角- (ハイフン) の一字のみ入力します。
OL_E3003	名の部分が全角ハイフン「-」以外(全角マイナス「ー」、全角ダッシュ「—」、長音「ー」)になっています。	漢字名	全角マイナス「ー」、全角ダッシュ「—」、長音「ー」いずれか1文字が入力されています。名が不明の場合、全角- (ハイフン) の一字のみ入力します。
OL_E3004	生年月日の値がアップロード日より未来になっています。	生年月日	生年月日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付が入力されています。生年月日の入力为正しくありません。

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
OL_E3008	診断日が完全不明日付になっています。	診断日	診断日に“9999/99/99”、“9999/mm/99”、“9999/99/dd”、“9999/mm/dd”のいずれかが入力されています。診断年 9999（不明）の届出はできません。少なくとも診断年を推測して入力してください。
OL_E3011	死亡日が完全不明日付になっています。	死亡日	死亡日に“9999/99/99”、“9999/mm/99”、“9999/99/dd”、“9999/mm/dd”のいずれかが入力されています。死亡年 9999（不明）の届出はできません。死亡年月日が不確かな場合は入力不要です。
OL_E3012	死亡日が非完全不明日付になっています。	死亡日	死亡日に“yyyy/mm/99”、“yyyy/99/dd”、“yyyy/mm/88”、“yyyy/88/dd”、“yyyy/99/99”、“yyyy/88/88”のいずれかが入力されています。死亡年月日が不確かな場合は入力不要です。
OL_E4001	生年月日の値が死亡日より未来になっています。	生年月日、死亡日	生年月日に死亡日より未来の日付が入力されています。生年月日、死亡日のどちらか又は両方の入力が正しくありません。
OL_E4004	原発部位・局在コードと側性のパターンの組み合わせが不正です。	側性、原発部位・局在コード	側性“3”（両側）は原発部位・局在コードが“C569”（卵巣）、“C649”（腎臓）、“C69_”（眼）の場合のみ適用できます。側性、原発部位のどちらか又は両方の入力が正しくありません。側性“3”（両側）の適用部位以外の原発部位の両側に届出対象のがんが独立して認められる場合は右・左それぞれのがんについて届出を作成してください。原発の側性が不明な場合は、側性“9”（不明）を入力してください。
OL_E4005	原発部位・局在コードと進展度・治療前のパターンの組み合わせが不正です。	原発部位・局在コード、進展度・治療前	進展度・治療前“777”（該当せず）は、原発部位・局在コード“C420”（血液）または“C421”（骨髄）の場合のみ適用できます。原発部位、進展度・治療前のどちらか又は両方の入力が正しくありません。
OL_E4006	原発部位・局在コードと進展度・術後病理学的のパターンの組み合わせが不正です。	原発部位・局在コード、進展度・術後病理学的	進展度・術後病理学的“777”（該当せず）は、原発部位・局在コード“C420”（血液）または“C421”（骨髄）の場合のみ適用できます。原発部位、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力が正しくありません。

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
OL_E4009	診断根拠と病理診断・形態コードのパターンの組み合わせが不正です。	診断根拠、病理診断・形態コード	診断根拠（全経過）“4”（部位特異的腫瘍マーカー）は、病理診断・形態コードの先頭 4 文字が“8170”（肝細胞癌）、“9100”（絨毛癌）、“9500”（神経芽腫）、“9732”（多発性骨髄腫）、“9761”（ワルデンストレームマクログロブリン血症）の場合のみ適用できます。上記以外の病理診断・形態コードで、診断根拠“4”の場合は、診断根拠“5”（臨床検査）を入力してください。
OL_E4010	性状コードと進展度・術後病理学的のパターンの組み合わせが不正です。	病理診断・形態コード、進展度・術後病理学的	病理診断・形態コードの 5 文字目（性状コード）が“3”（浸潤癌）の場合は、進展度・術後病理学的“400”（上皮内）ではありません。性状コード、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4012	観血的（外科的・鏡視下・内視鏡的）治療の範囲、性状コードと進展度・治療前のパターンの組み合わせが不正です。	治療の範囲、病理診断・形態コード、進展度・治療前	治療の範囲が“6”（観血的治療なし）かつ病理診断・形態コードの 5 文字目（性状コード）が“2”（上皮内癌）の場合、進展度・治療前が“400”（上皮内）又は“499”（不明）のみ適用できます。治療の範囲、性状コード、進展度・治療前のいずれか又は複数の入力为正しくありません。
OL_E4013	観血的（外科的・鏡視下・内視鏡的）治療の範囲、性状コードと進展度・治療前のパターンの組み合わせが不正です。	治療の範囲、病理診断・形態コード、進展度・治療前	治療の範囲が“6”（観血的治療なし）かつ病理診断・形態コードの 5 文字目（性状コード）が“3”（浸潤癌）の場合、進展度・治療前“400”（上皮内）は適用できません。治療の範囲、性状コード、進展度・治療前のいずれか又は複数の入力为正しくありません。
OL_E4014	治療施設と進展度・術後病理学的のパターンの組み合わせが不正です。	治療施設、進展度・術後病理学的	治療施設が“1”（自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明）または“4”（他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診）の場合、進展度・術後病理学的は“660”（手術なし又は術前治療後）または“777”（白血病又は多発性骨髄腫）です。治療施設、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4015	治療施設と外科的治療の有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無、放射線療法の有無、化学療法の有無、内分泌療法の有無、その他治療の有無のパターンの組み合わせが不正です。	治療施設、〇〇治療の有無	治療施設“1”（自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明）または“4”（他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診）または“8”（その他）の場合、外科的治療の有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無、放射線療法の有無、化学療法の有無、内分泌療法の有無、その他治療の有無はすべて“2”（自施設で施行なし）です。治療施設、〇〇治療の有無のどちらか又は両方の入力为正しくありません。

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
OL_E4016	生年月日の値が診断日より未来になっています。	生年月日 診断日	生年月日に診断日より未来の日付が入力されています。生年月日、診断日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4017	診断日の値がアップロード日より未来になっています。	診断日	診断日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付が入力されています。診断日の入力为正しくありません。
OL_E4018	診断日の値が死亡日より未来になっています。	診断日 死亡日	死亡日に診断日より未来の日付が入力されています。死亡日、診断日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4019	発見経緯が4（剖検発見）の場合は、死亡日は必須項目です。	発見経緯 死亡日	発見経緯が“4”（剖検発見）かつ死亡日が空白です。発見経緯“4”は、届出対象のがんが死亡後に行われた剖検で発見された場合に適用します。発見経緯又は死亡日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4020	発見経緯と観血的（外科的・鏡視下・内視鏡的）治療の範囲と進展度・術後病理学的の組み合わせが不正です。	発見経緯 治療の範囲 進展度・術後病理学的	発見経緯が“4”（剖検発見）以外かつ治療の範囲が“6”（観血的治療なし）の場合、進展度・術後病理学的は“660”（手術なし・術前治療後）又は“777”（該当せず）が適用されます。発見経緯、治療の範囲、進展度・術後病理学的のいずれか又は複数の入力为正しくありません。
OL_E4021	外科的治療の有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の範囲の組み合わせが不正です。	外科的治療有無、 鏡視下治療の有無 内視鏡的治療の有無 治療の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無のいずれかが“1”（自施設で施行）の場合、治療の範囲“6”（観血的治療なし）は適用できません。 外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて“2”（自施設で施行なし）の場合、治療の範囲“6”（観血的治療なし）のみ適用できます。 外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて“9”（施行の有無不明）の場合、治療の範囲“9”（不明）のみ適用できます。 外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無がすべて“1”（自施設で施行）以外の場合、治療の範囲“1”（腫瘍遺残なし）、“4”（腫瘍遺残あり）は適用できません。 <p>外科的治療有無、鏡視下治療の有無、内視鏡的治療の有無、治療の範囲のいずれか又は複数の入力为正しくありません。</p>
OL_E4022	死亡日の値がアップロード日より未来になっています。	死亡日	死亡日に、届出票のアップロード日現在よりも未来の日付が入力されています。死亡日の入力为正しくありません。

エラー番号	エラー詳細	確認する項目	修正・対応方法
OL_E4024	原発部位・局在コードと診断根拠のパターンの組み合わせが不正です。	原発部位・局在コード 診断根拠	原発部位・局在コードが“C809”(原発部位不明)かつ診断根拠が組織診の場合、診断根拠(全経過)は“2”(転移巣の組織診)を適用します。原発部位・局在コード、診断根拠のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4025	性状コードと進展度・術後病理学的のパターンの組み合わせが不正です。	病理診断・形態コード 進展度・術後病理学的	病理診断・形態コードの5文字目(性状コード)が“2”(上皮内癌)の場合は、進展度・術後病理学的“410”(限局)~“440”(遠隔転移)は適用できません。性状コード、進展度・術後病理学的のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4028	生年月日と診断日の差が120年以上になっています。	生年月日 診断日	診断時年齢が120歳を越えています。診断日、生年月日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4029	診断日と死亡日(死亡日が空白(“”)の場合はシステム日付)の差が120年以上になっています。	死亡日 診断日	死亡時年齢又は届出時年齢が120歳を超えています。死亡日、診断日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。
OL_E4030	生年月日と死亡日の差が120年以上になっています。	生年月日 死亡日	死亡時年齢が120歳を越えています。生年月日、死亡日のどちらか又は両方の入力为正しくありません。